

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。
一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

インクルーシブ教育などの推進に向けた体制整備について

問 インクルーシブ教育などの推進に向けた体制整備の主要施策の内容は。

答 関係機関との連携、インクルーシブ教育などの活動支援の2つを挙げている。関係機関との連携においては、インクルーシブ教育などの推進に向けて、庁内の関係部局間との連携をはじめ、幼稚園、保育園、学校などの連携を行っていく。インクルーシブ教育などの活動支援においては、インクルーシブ教育などの活動を行う団体などに対して支援に努めることとしている。

問 どのような経緯で今回項目を設けるようになったのか。

答 市の第7期障害福祉計画および第3期障害児福祉計画の策

定に当たり則すべき事項を国が定めた基本的な指針が令和5年に改正されたため、それを踏まえ、市が行うべき内容について検討した。指針の中で、障害児の地域社会への参加、包容インクルージョンを推進する体制の構築がサービスなどの提供体制の確保に係る目標として掲げられているのを踏まえ設けたものである。

問 稲城市発達支援センター分室に配置される各種専門職は。

答 児童福祉法に基づく人員基準の規定では、保育士、児童指導員だが、それに加えて市独自に心理職、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の配置を予定しており、充実させた体制で運営していく。

小中学校の不登校やいじめへの対応、スクールカウンセラーなどの配置拡充、フリースクールなど多様な学びの保障について

問 全国市長会は、不登校やいじめの対策などを促進するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置拡充を求めているが、認識は。

答 スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーの配置の拡充については、大切なことと認識しており、特にスクールカウンセラーの配置の拡充については、東京都教育委員会から都教育委員会へ要望している。

問 各校へスクールワーカーの配置を増やしていくということ、また正規雇用への待遇改善も重要だと考えるが、認識は。

答 令和5年度における東京都教育委員会から都教育委員会への要望の内容については、ス

クールカウンセラーの常駐配置を視野に入れた年間勤務日数の増を要望しており、スクールカウンセラーの配置拡充については大切なことと認識している。

問 国は平成29年に教育機会確保法を施行し、学校の枠に縛られない多様な学びの場を認めてきている。フリースクールなど、学校以外の多様な学びの保障について、認識は。

答 不登校児童・生徒に対する多様な教育機会の確保については、不登校児童・生徒一人一人の状況に応じて、梨の実ルームやICTを活用した学習支援、フリースクールなどの民間施設など、多様な教育機会を活用することは大切なことと認識している。



村上 議員



岡田 議員

議長公務日誌

稲城市芸術文化団体連合会 創立50周年記念式典及び祝賀会 (令和6年3月2日)

長年、市の芸術、文化に携わっている稲城市芸術文化団体連合会の50周年を祝福し、祝辞を述べました。



第14回 三沢川 桜・梨の花まつり (令和6年3月30日)

今年も春を告げるおまつりの開催を祝し、開花時に桜の樹皮に宿るピンクの色素が花びらを色づける神秘的な話を交え、挨拶をしました。



稲城市議会事務局 辞令交付式 (令和6年4月1日)

市議会辞令交付式を執り行い、今まで市議会の為に尽力してくれた職員に激励の言葉を、そして、新たに仲間入りする職員に歓迎の言葉を贈りました。



市内工事完了(予定)施設を視察しました！

議員公務

3月21日

今後の議員活動に活かすため、市内の新たな公共施設について、現地を調査し、事業の進捗状況の確認や担当課からの説明を受けました。

視察地：①重症心身障害児(者)等通所施設、発達支援センター分室、教育相談室分室
②南山小学校普通教室および学童クラブの増築分



※茶色く太字になっている用語については10面で詳しく説明しています。